

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【公開番号】特開2017-45875(P2017-45875A)

【公開日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2015-167644(P2015-167644)

【国際特許分類】

H 01 L 25/07 (2006.01)

H 01 L 25/18 (2006.01)

H 02 M 7/48 (2007.01)

H 01 L 23/48 (2006.01)

【F I】

H 01 L 25/04 C

H 02 M 7/48 Z

H 01 L 23/48 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モータを駆動するための3相インバータ回路を有する半導体モジュールにおいて、

該半導体モジュール内の配線として機能するバスバが三叉状に形成されており、

前記バスバの一部がモータ電流検出用のシャント抵抗で構成され、

3相それぞれの前記シャント抵抗を1つの前記バスバに一体化した、半導体モジュール

。

【請求項2】

前記シャント抵抗が矩形の板状である、請求項1に記載の半導体モジュール。

【請求項3】

前記バスバのうち前記シャント抵抗の両端の部分が平坦である、請求項1または2に記載の半導体モジュール。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか一項に記載の半導体モジュールを備えた駆動装置。

【請求項5】

請求項1から3のいずれか一項に記載の半導体モジュールを備えた電動パワーステアリング装置。

【請求項6】

請求項1から3のいずれか一項に記載の半導体モジュールを備えた車両。

【請求項7】

モータを駆動させるための3相インバータ回路を有する半導体モジュールの製造方法において、

該半導体モジュール内の配線として機能するバスバを三叉状に形成し、

前記バスバの一部をモータ電流検出用のシャント抵抗で構成し、

3相それぞれの前記シャント抵抗を1つの前記バスバに一体化する、半導体モジュール

の製造方法。